

デンカ

プラスチック TYPE-1 HF

高流動型無収縮グラウト材

FLOWABLE NON SHRINKAGE NON BLEEDING METALIC FREE HIGH STRENGTH

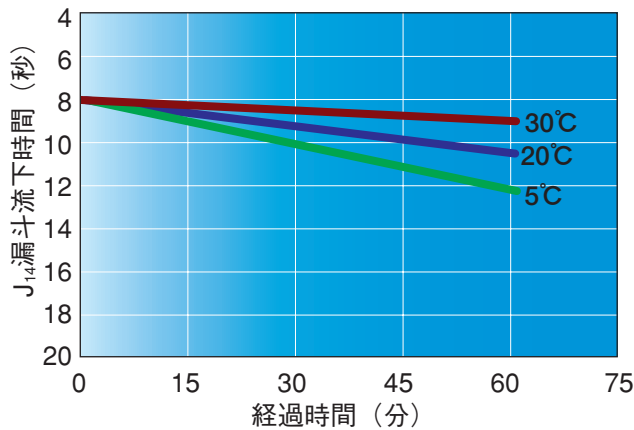


DENKA

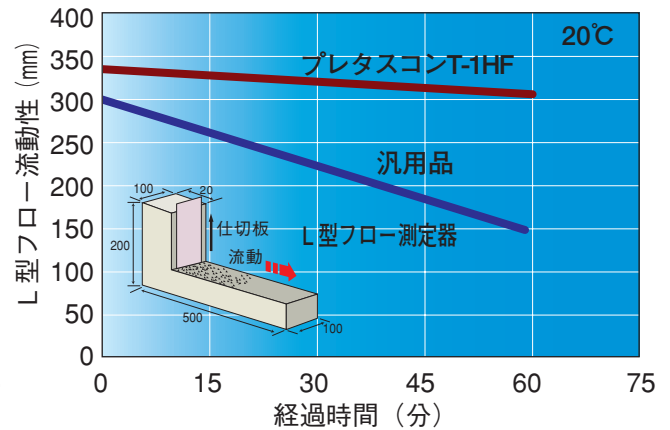
電気化学工業株式会社

4 モルタルの物性例

1 流動保持性(練り置き性)



2 L型フロー流動性



3 一般物性試験例

[一例]

養生温度 (°C)	W/(C+T) (%)	ブリーディング率 (%)	膨張収縮率 (%)	凝結時間 (時一分)		圧縮強度 (N/mm ²)			
				始発	終結	1日	3日	7日	28日
5	36.5	0.0	0.27	12-35	22-35	0.8	14.7	33.6	56.2
20	35.0	0.0	0.39	6-53	8-42	20.1	42.0	50.9	65.5
30	32.5	0.0	0.42	6-15	7-10	29.7	50.4	60.7	71.1

5 使用上の注意点

●練混ぜ

- 練混ぜ水は、油、塩類、有機物などを含まない清浄な水を使用ください。
- 使用水量は、材料温度、環境温度、ミキサの形式、練り量などにより変化しますので、あらかじめ試験練りを行って適正水量を確認してください。
- 手練りはさげ、モルタル専用高速ミキサが900rpm以上のハンドミキサを使用ください。ハンドミキサの回転翼はステンレス製や鉄製の物を使用し、アルミ製回転翼は異常膨張の原因となりますので絶対に使用しないでください。
- 練混ぜ水が適正な量でない場合、硬化体に異常が生じ、無収縮グラウト材の性能が損なわれますので、指定の水量以外では使用しないでください。

●コンクリート表面の清掃

- 注入前にコンクリート表面の油類、レイタンス層、泥土を除去するとともにコンクリートに十分清水を吸水させてください。

●注入・充填

- グラウトは、自重圧工法またはポンプ施工によ

り片側から注入・充填を開始し、流出側からモルタルがあふれ出るまで連続的に注入して下さい。巻込み空気や未充填部が残らないような処置を行ってください。

●養生

- グラウト施工終了後、モルタル表面を養生マット等で覆って、直射日光や風の影響を避け、絶えず湿っている状態に保持してください。冬場等で外気温が低い場合(5°C以下)には保温養生を施してください。養生が不足しますとグラウト表面にヘアクラックが生ずることがあります。
- モルタルの露出部分は、急激な乾燥や長期にわたる乾燥によってひび割れが発生することがあります。

●製品の保管上の注意

- 普通セメントより吸湿性が高いため、いったん開封したものはその日のうちに使用してください。
- 製品は直射日光、雨水の影響を受けない乾燥した室内に貯蔵保管してください。

デンカプレタスコンTYPE-1 HF

1 特長

① 流動性が優れています。

小さなW/Cで高いセルフレベリング性、良好な流動保持性が得られます。そのため空隙のない充てんを可能にします。また、モルタルミキサの使用やポンプ圧送に適しておりますので、現場作業の能率を向上させ、経済的にも有利です。

② 沈下・収縮がありません。

コントロールされた膨張性と長期に安定した無収縮性が沈下・収縮を防ぎ構造物の一体化を図ります。

③ ブリーディングがありません。

空隙の発生を招くブリーディング現象がなく、グラウトの重要な条件である“かなめ”としての役割を存分に発揮します。

④ 長期強度の増進が望めます。

デンカプレタスコンTYPE-1 HFは、材齢28日以降も強度増進があり、長期強度・耐久性に優れたモルタルが得られます。

⑤ ノンメタリック材料です。

セメント系グラウト材ですので、さびの発生による変色がありません。

2 一般的性質

- ① 荷姿；25kgポリエチレン包装
- ② セメント砂比(C/S)；1/1モルタル
- ③ 使用温度範囲；5℃～35℃
- ④ 水量/1袋；3.9～4.7ℓ



3 標準配合と1袋当りの配合例

● プレタスコンT-1 HFの標準配合

W/(C+T) (%)	目標軟度 J ₁₄ 漏斗流下時間 (秒)	単用量 (kg)		1m ³ 当りの使用量
		材料	水	
35.0	8±2	1,875	329	75袋

● プレタスコンT-1 HFの1袋(25kg)当りの配合例

W/(C+T) (%)	目標軟度 J ₁₄ 漏斗流下時間 (秒)	単用量 (kg)		1袋当りの練上り量
		材料	水	
31.2～37.6	8±2	25	3.9～4.7	約13.3ℓ

DENKA

DENKI KAGAKU KOGYO KABUSHIKI KAISHA

ISO 9001
ISO 14001
BUREAU VERITAS
Certification



008



008

本社

東京都中央区日本橋室町2-1-1 (日本橋三井タワー) 〒103-8338
電話03-5290-5363

大阪支店

大阪市北区梅田1-12-39 (新阪急ビル) 〒530-0001
電話06-6342-7616

名古屋支店

名古屋市中村区名駅4-6-23 (第三堀内ビル) 〒450-0002
電話052-571-4535

福岡支店

福岡市博多区冷泉町5-35 (福岡祇園第一生命ビル) 〒812-0039
電話092-263-0841

新潟支店

新潟市中央区東大通1-3-10 (三井生命ビル) 〒950-0087
電話025-243-4121

北陸支店

富山市桜橋通2-25 (富山第一生命ビル) 〒930-0004
電話076-433-1441

札幌支店

札幌市中央区南2条西2-18-1 (札幌南二条ビル) 〒060-0062
電話011-281-2301

東北支店

仙台市青葉区本町1-10-3 (仙台新和ビル) 〒980-0014
電話022-223-9191

長野営業所

長野市緑町1605-14 (長野ダイヤモンドビル) 〒380-0813
電話0262-26-4281

群馬営業所

高崎市小八木町306-4 〒370-0071
電話027-364-1751

広島営業所

広島市中区三川町2-10 (愛媛ビル広島) 〒730-0029
電話082-249-7369

四国営業所

香川県高松市天神前10-12 (香川天神前ビル) 〒760-0018
電話087-833-6511

特混町田研究センター

東京都町田市旭町3-5-1 〒194-8560
電話042-721-3661

無機材料研究部

新潟県糸魚川市大字青海2209 〒949-0393
電話025-562-6312



警告



- 水や汗・涙等の水分と接触すると強いアルカリ性になり、皮膚、目、呼吸器等を刺激したり、粘膜に炎症を起こします。
- 目に入れないこと。入った場合は、直ちによく洗浄し、専門医の診断を受けること。●皮膚に付けないこと。
- 鼻や口に入れないこと。●保護メガネ、防塵マスク、ゴム手袋を着用のこと。●子供に触れさせないこと。

電気化学工業株式会社

本社：東京都中央区日本橋室町2-1-1 セメント・特混事業部 特殊混和材部 電話03-5290-5363